

◇進路通信◇



第 2 号 2021年5月1日

■共通テスト事始め 令和4年1月15日(土), 6日(日)実施

共通テストは、1979年に初めて実施された「共通1次試験」が始まりです。当初は「すべての国公立大学および産業医科大学の入学志願者対象」に、大学入試問題の難問や奇問を是正し、「入試地獄」を緩和することを目的としていました。現在の共通テストとの違いは「私大志願者は想定していない」「共通1次試験のみで合否を判定しない」ということです。2次試験があつての、1次試験だったわけです。

では、今年初めて実施された共通テストについて、大学入試センターの説明を見ていきましょう。

問題作成の基本的な考え方

- ・高等学校教育の成果として身に付けた、大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力, 判断力, 表現力等を問う問題
- ・高等学校学習指導要領において育成することを目指す資質・能力を踏まえ, 知識の理解の質を問う問題や、思考力, 判断力, 表現力等を発揮して解くことが求められる問題を重視
- ・授業において生徒が学習する場面や、社会生活や日常生活の中から課題を発見し解決方法を構想する場面, 資料やデータ等を基に考察する場面など、学習の過程を意識した問題の場面設定を重視

マーク式問題の新たな出題形式

- ・マーク式問題の新たな出題形式として、連動型の問題(連続する複数の問いにおいて、前問の答えとその後の問いの答えを組み合わせることで解答させ、正答となる組合せが複数ある形式)を出題する場合があります

以上からわかるポイントは「単なる知識を問うのではなく、知識があることを前提とした理解の質を問う問題」「思考力判断力表現力を問う手段として、資料やデータを考察する問題, 連動型解答問題」が出題されます。例えば英語では、既習英単語の意味や、文法そのものを問う問題の出題はありませんが、だからといって、語彙力や文法力なくて解答できる問題かという、そうではないということです。

★進路通信では、今後も共通テストに関する情報を発信していきます

3年模試 5月2日(日)河合塾模試 408名受験

今回は「共通テスト形式のマーク模試」です。前回の進路通信でもお伝えしましたが、模擬試験を受ける心構えを再度掲載いたします。1日頑張りましょう！

★模擬試験を受験する主な目的は次の通り

- ① 決められた時間内で、どの程度こなせるかを確認。時間がかかりすぎる問題を明確にする
 - ② 集中して考え、アウトプットする密度の高い1日の学習をする
 - ③ 解答後1週間以内の復習、答案返却時の復習、3か月後の復習と、復習の徹底をする
 - ④ 現時点における全国での位置を知り、科目ごとの学習進度を確認する
- ※ つまり、現時点での合格判定はあまり重要ではないということ

学力アップは「3点固定」 規則正しい生活の確立が学力アップにつながる！

まもなく連休に入ります。学習に集中して取り組める絶好の機会ですね。勉強効率をあげるためには、日ごろからの体調管理が必須です。進学校で口を酸っぱくして言うことに「時刻の3点固定」というものがあります。

- ①起床時間
- ②家庭学習開始時間
- ③就寝時間

今春難関私大に合格したある武南生は、3年生の時は休日でも朝5時半に起きて夜10時まで勉強していました。希望の進路を実現するには自らの努力が必要です。3年生はあと10カ月で大学入試がほぼ全て終了します。ぜひ、10カ月後の自分が過去(高校時代)の自分を「もっと勉強しておけばよかった」と後悔することなく、「自分とはとにかく勉強をやり切った」という充実感をもって受験を終えられるようにしたいものです。

学習4原則 「自発的」「計画的」「継続的」「即時実行」

「先生、何を勉強したらいいですか？」「次は何をやったらいいですか？」「いつまでにやったらいいですか？」。勉強について熱心にこうした質問をする人がいます。質問は歓迎なのですが、問題点があります。それは「自分の頭で考えていない」ということです。希望大学に合格するには「何が必要か」「いつまでに何をしておかなくてはいけないのか」「わからないことは何か」「現在の学力の状況は、全国でどのぐらいか」といったことを自己分析し、解決方法を自分で考え、計画を立て、毎日継続し、わからなければすぐ質問する、といった姿勢で学習に取り組む必要なのです。